



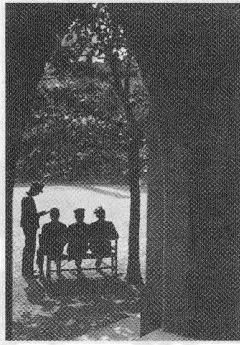
連載18回

志茂田景樹の「あのころ……」

# 今、大原簿記学校はどこに？

(法学部政治学科卒) 志茂田景樹

今年の正月に神保町の某書店でサイン会をやつての帰り、すずらん通りに入った。2、3年に1回ぐらゐはこの通りを歩くなあ。学生時代からガラツと変貌していて、ここに何があつたつけ、としばらく立ち止まっても思い出せないところが多いものです。そうそう、このときはここ大原簿記があつたんだよなあ、と不意に当時の同校が立ち上がりました。



道に面した窓から授業風景を覗くことができました。窓には細い鉄格子のガードがついていましたね。その間から開いている窓越しに教壇のほうを見ました。先生と目が遭つて、あれ、と叫びました。小学校のとき、いつとき通つていた算盤塾の先生でした。夏を除いていつも学生服姿でした。向こうも僕に気づいて、入つてこい、と大袈裟に手招きました。僕にとってはつまらないだけの簿記の授業につきあつたら、終わつてヤキトリをご馳走になりました。今、大原簿記はどこにあるのかな。万事に長閑な時代でしたね。



お茶の水時代の講堂や授業、人事部の掲示板など懐かしい写真  
(写真提供/中央大学 大学史資料課)

